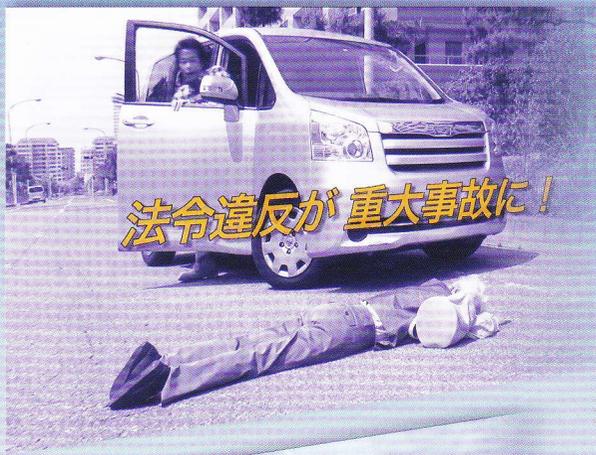




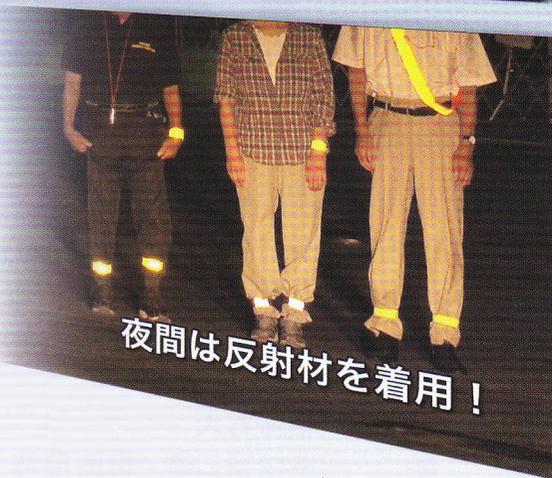
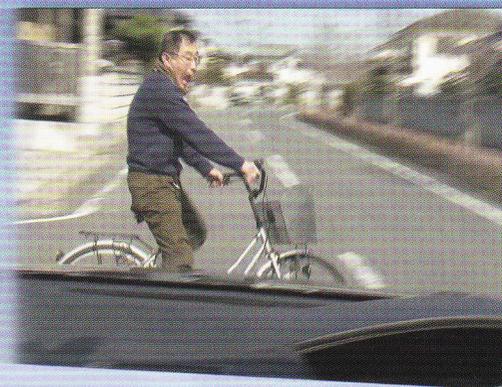
一般財団法人
全日本交通安全協会 推薦

高齢者のみなさん! いつも安全確認していますか?

高齢歩行者・自転車利用者の交通事故を防ぐ



もう一度
見直そう
交通ルールとマナー



自転車安全利用五則

自転車に乗るときの基本ルール

- 1、自転車は車道が原則、歩道は例外
- 2、車道は左側を通行
- 3、歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 4、安全ルールを守る
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
- 5、子どもはヘルメットを着用

夜間はライトを点灯
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

企画意図

交通事故による死者は、年々減る傾向にあるのに対し、死者数に占める高齢者の割合は、増加傾向を示しています。なかでも歩行中の死者数は、約7割を65歳以上の高齢者が占めており、その対策が急がれています。

高齢歩行者・高齢自転車利用者が事故に遭うケースでは、どのようなパターンがあるのでしょうか。最も多い事故事例を再現映像で分析し、事故を防ぐポイントを考えていきます。またスタントマンによる危険な事故シーン再現で、普段なにげなくとっている行動も、命を落とすような大事故につながることをアピールします。高齢者の皆さんが、歩行者・自転車利用者としての交通ルールを厳守し、マナーを再確認する必要があることを強く訴える内容となっています。

高齢歩行者
自転車利用者向け

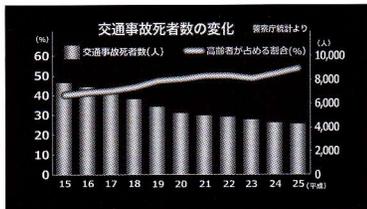
高齢者のみなさん！いつも安全確認していますか？

高齢歩行者・
自転車利用者の交通事故を防ぐ

■増える高齢歩行者の交通事故死

交通事故の死者数は年々減少傾向にあるが、死者数に占める高齢者の割合は増加傾向。

高齢者が歩行中、自転車乗用中に事故に遭ってしまう事例について詳しく検証する。



■高齢歩行者に多い法令違反とは？

- ・車の直前直後の横断
- ・横断歩道を渡らない
- ・信号無視・斜め横断
- ・横断禁止場所の横断



■夕暮れから多い高齢歩行者の事故

- ・夜間の歩行には反射材を着用
- ・様々な種類の反射材を紹介



黒っぽい服装と、白など明るい色の服装での見え方の違いと反射材の効果を実験。

■自転用乗用中に多い事故例

高齢者の自転車乗用中の事故は、他の年齢層に比べ、死亡率が高い。とくに多い事例は…

- ・出会い頭の事故
- ・駐車車両を避けて事故
- ・危険な瞬間をスタントで再現



■自転車安全利用五則

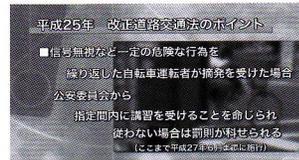
自転車は誰でも使える身近な乗り物だけに交通ルールを意識せず、安易に使いがち。しかし、自転車事故の増加に伴い、交通ルール厳守が求められ、罰則も厳しくなっている。

ここでは、自転車に乗るとき気を付けるべき、とくに重要な5つのルールをわかりやすく解説。



■平成25年改正道路交通法のポイント

- ・基準に適合するブレーキを備えていない自転車への検査を強化
- ・通行できる路側帯は道路の左側に設けられた路側帯に限る (平成25年12月施行)
- ・一定の危険な行為を繰り返した自転車運転者が摘発を受けた場合、公安委員会から講習の受講を命じられる。(平成27年6月までに施行)



企画・制作統括 高木 裕己
 脚本・演出 細見 吉夫
 撮影 中村 賢二郎 / 世良 隆浩
 コーディネーター 斎藤 晃顕
 制作・著作 株式会社映学社

- 本体 ¥65,000 + 税 (字幕版も収録)
- DVD [カラー・17分]
- 2014年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

各都道府県・各地区交通安全協会
 一般財団法人 全日本交通安全協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 自動車会館7階
 TEL:050(3531)0571